

第72回 北日本産科婦人科学会総会・学術講演会
教育セミナー8

卵巣癌における バイオマーカーTFPI2の リアルワールドにおけるデータ

座長

馬場 長先生

岩手医科大学 産婦人科学講座 教授

演者

川口 龍二先生

奈良県立医科大学 産婦人科学講座 准教授

日時
会場

2025年

9月13日(土) 10:40-11:40

第3会場 (ホテルメトロポリタン仙台 4階 芙蓉)

〒980-8477 仙台市青葉区中央1丁目1-1

●整理券制ではございません。先着順で受付いたします。

共催

第72回 北日本産科婦人科学会総会・学術講演会



東ソー株式会社

TOSOH

第72回北日本産科婦人科学会総会・学術講演会
教育セミナー8

卵巣癌におけるバイオマーカー TFPI2のリアルワールドにおけるデータ

座長：馬場 長 先生（岩手医科大学 産婦人科学講座 教授）

演者：川口 龍二 先生（奈良県立医科大学 産婦人科学講座 准教授）

組織因子経路インヒビター-2(Tissue Factor Pathway Inhibitor-2; TFPI-2)は卵巣明細胞癌の培養上清のプロテオーム解析から発見された卵巣癌の新規バイオマーカーであり、2021年4月に保険収載となった。TFPI2は高い明細胞判別性能を有しており、試薬添付文書には悪性腫瘍と良性腫瘍を鑑別するTFPI2のカットオフ値は191pg/mL、明細胞癌と非明細胞癌を鑑別するカットオフ値として270pg/mLと記載されている。

しかし、TFPI2が保険収載となった後のリアルワールドでのTFPI2のデータ蓄積はまだ少ない。われわれは、TFPI2が保険収載されてから2023年5月までの期間に卵巣腫瘍にて手術を行い、病理組織学的診断の確定した124例においてTFPI2の有用性について、CA125と比較して検討を行った。

その結果、良性腫瘍群と境界悪性腫瘍および悪性腫瘍を合わせた群との比較、良性腫瘍および境界悪性腫瘍を合わせた群と悪性腫瘍群との比較、明細胞癌群と非明細胞癌群との比較ではそれぞれCA125、TFPI2ともに有意差をもって鑑別可能であり、明細胞癌群と卵巣子宮内膜症性嚢胞群との比較ではCA125では有意差を認めないもののTFPI2では有意差をもって鑑別可能であった。また術後TFPI2の上昇が卵巣癌増悪を反映していた症例も経験した。これらの結果より実臨床においてもTFPI2は既存の腫瘍マーカー同様に有用であることが分かった。さらに、TFPI2が卵巣癌における予後予測マーカーになりうるかも検討を行い、術前のTFPI2が高値である症例の予後は有意に不良であった。

以上のように、TFPI2は明細胞癌、卵巣腫瘍の良悪性の鑑別する診断マーカーだけでなく、予後予測因子になるバイオマーカーとなりうることがリアルワールドのデータとして明らかとなった。